



# 幸樹

こう じゅ

## 第111号

2024年6月1日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館





## 三上英一さんにお聞きしました



「もう6年になるよ。退院して自宅に戻る時から幸樹会にお世話になってるんだ。あんず、ゆず、ベッドとか色々…」と少し懐かしそうに話された三上さん。ゆずは、現在週2回、生活のお手伝いに行かせて頂いています。

掃除をしているといつも楽しそうに今まで起きた大事件（例えば三億円強奪事件など）の裏事情を解説して下さいます。



三上英一さんにインタビューさせて頂きました。

（聞き手：ケアステーションゆず 加藤）

三上さんは、昭和25年に千葉県の船橋に生まれ、ご両親は商売をされていたそうですが、5歳の時に他界され、親戚の家で育てられたそうです。

子どもの頃は、その当時には珍しく、英語を習わせてもらったそうですが、「なんの役にも立たなかったなあ…」と少し遠い目で話されました。

至って普通の子どもだったという三上さんは、大人になったら「お金持ちになりたい」と思っていたそうです。45歳までは、流通関係の会社で事務的な仕事をされ、バブル景気も経験する中、コツコツと真面目に仕事に励んだそうです。

転機が訪れたのは、その会社を辞めた時からで、色々な仕事を体験されたそうです。

「ホームレスになりそうになったけど、首の皮1枚つながって、大丈夫だったんだ。運が良かったよ。」と笑いながら話す三上さん。

趣味は、麻雀、競馬だったそうですが、今は競馬を楽しんでいらっしやるとのこと。

「お馬さん大好き！女性よりお馬さんが好き！」と笑顔で話されます。「もしかして船橋競馬場の近くで育ったのでは？」と尋ねると「よくわかったね～」と笑っていらっしやいました。

少年のように楽しそうに話をされる三上さんは、好奇心旺盛。

都市伝説を追って、高速バスで能登半島まで一人旅に出て、いざ探索と意気込んで地元の人に聞いたところ、誰も知らなかったというオチのある話も楽しそうにしてくださいます。

社会を揺るがした事件の解説は、本当に聞いていて楽しく、「へえ～、そうなんだ～」と思わせてくれる話しぶりは、ミステリー感満載。

「三上さんは、もしかしてノンフィクション作家になりたかったのでは？」と尋ねると、「どうしてわかったの～？秘密にしていたのにバレたか～」と笑いながらおっしゃっていました。

世の中で起きている様々な事件や現象、日本の政治や経済にも常に興味を持って、情報を得たことを話してくださいます。

この好奇心は、もしかして、幼いころに異国の言葉に触れ、世界を広く見ることができる人になったからでは？と思わせて下さる興味深い話に、いつも引き込まれてしまいます。まだまだ三上さんの好奇心は広がりそうです。

ふとパソコンに目をやると、何やらグラフが…

「株もやっていたらいいんですか？」と尋ねると「そうだよ。

億を稼がないとプロとは言えないけど、夢はあるね。」とのこと。「夢は何ですか？」とお聞きすると「一軒家に住むことさ。そこに専属の看護師さんがいれば、安心して楽しく暮らせるだろ。」とまたまた少年のような笑顔をみせて下さいました。

インタビューの最初に「おいくつになられましたか？」と尋ねたところ「45歳だよ。」と冗談のように答えていた意味がわかったような…

『お金持ちになりたい』という子どもの頃からの素朴な夢を今もずっとお持ちになっていて「戦後をずっと見てきたから、晩年は安らかに過ごしたいんだよな。」と納得のひとつこと。

夢の実現のために、是非競馬で大穴を当てて下さいね！



## ケアマネジャー の こころ

### あんず居宅介護支援事業所 介護支援専門員 寺師 翠

Nさんは数年前に癌の診断を受けました。高齢のため積極的な治療は難しく、自宅で療養生活を送られています。体力や気力の低下により、コミュニケーションはごく簡単な会話のみでき、食事と排泄以外はほぼベッド上で過ごされています。

日常生活全般の介護は娘様がされています。娘様はとてもお母様思いで、日頃からお母様の表情や気持ちを汲み取り、お母様にとって1番良い方法を常に考えながら長年介護をされています。

Nさんに関わる病院や地域包括支援センターのスタッフから介護保険申請を勧められ、認定が出た後から担当させていただくこととなりました。

娘様は、自身で介護したい思いや、まだサービスを利用する必要はないとの思いがあり、サービス利用には消極的でした。

そんな中、娘様より「腰痛が辛い」との言葉が節々に聞かれるようになり、介護ができなくなることが懸念され始めました。

訪問介護や短期入所生活介護（ショートステイ）の利用を提案させていただいたところ、娘様は「自分ももっと上手に介護すれば大丈夫」との気持ちが強く、どんな事業所がありどのくらいの費用かということだけ確認し、利用はまだせずに経過をみることとなりました。数週間後、娘様より「腰を強く痛めてしまった、動けない」との連絡があり、検討していたショートステイを急遽利用することになりました。

娘様にとって急な決断となりましたが、まずはお身体を休めることを最優先としました。ショートステイ利用中、Nさんは好きな入浴を利用したり集団の中で食事を召し上がられたことがとても良い刺激になったようで、表情良く、穏やかに過ごされました。

娘様が介護の上で気になっていた誤嚥や皮膚トラブルも施設の看護師さんに看てもらうことができました。Nさんが体調よく過ごされている様子を見て娘様はとても安心し、さらに自身の身体をゆっくり休めることができ、サービスを利用して良かったと感じられたようです。その後、平日はショートステイを利用、週末は自宅で介護という生活へ移行しました。

自宅以外で過ごせる環境があることはNさんにとっても娘様にとっても良い生活に向かっているようでした。娘様は控えていた自身の外出や活動を再開され、ご自身

の生活にも目を向けられるようになりました。娘様の表情や声に明るさが感じられるようになりました。

今回、娘様が頭の片隅にショートステイの利用を考えてくださっていたため、急な状況の変化にも納得して決めることができ、Nさんは安心して生活を継続することができました。

常日頃からご本人ご家族の状態、意向を聞き取り、今後予測される状況と対応策を共有しておくことが大切だと感じました。

これからも、在宅生活を支援する専門職として、そのお手伝いができるよう日々研鑽に励みたいと思います。

### 研修医の先生の感想

あおぞら診療所研修医 畠山太一

本日は研修で大変お世話になり、ありがとうございます。あおぞら診療所の研修医の畠山太一です。

失礼ながら「看護小規模多機能型居宅介護」という存在を知ったのは貴院での研修をきっかけにすることでありました。通常はケアマネジャーを通して、別々の訪問看護施設・訪問介護施設・デイサービス・宿泊サービス・施設入所・福祉用具の手配など様々な介護サービスを用意するところを、看護小規模多機能型居宅介護ではオールインワンで行えるという事実をしり、大変驚くとともに、介護の理想的な姿ではないかと思うようになりました。研修では実際に入所中の患者さんの様子を見たり、訪問看護に同行したりしました。

入所中の方とデイサービスの方が同じ空間で過ごされており、一緒に食事を取ったり、会話をしたり、食器拭きなど簡単な作業をしていたりと、実世界での生活に近い雰囲気でも過ごされていました。またさんしょうさんでは昼の部屋も用意されておりました。医療ニーズの高い方の看護・介護に対応しながらも、通常の施設にはないような、刺激のある療養環境であることに驚かされました。また自由に家族と面会できるようになっていることで、最期が近い患者さんにも病院よりフレキシブルに対応できる優しい療養環境である点が良いなと思いました。

訪問看護に同行させていただいた際に「有事の際に宿泊する事になった際に訪問と同じ看護・介護スタッフが対応する」という話を聞き、利用者さんに万が一があっても安心して利用できるのは素晴らしいと感じました。

貴院で1日過ごすうちに、自分ももし介護を受ける立場になるとしたら看護小規模多機能型居宅介護を希望したいなという思いを抱くようになりました。

大変貴重な経験をありがとうございました





## デンマーク便り…59

ラスムッセン 京子

政府も夏休みの前に 2025 の予算案などを話し合っているようだ。

2025 年までに、福祉資金を捻出するために、政府行政で 1,000 人の人員が削減される、と社会民主党のニコライ、ワムメン氏。

その後の数年間で、その数は増加し、さらに多くの行政職が削減されるだろう。

### 新たな経済協定

ニコライ・ワムメン氏が自治体や地方と新たな財政協定の交渉を進めているなかでの発言である。

市町村の合併で地方行政の合理化と効率化そして IT 利用で市民の自らの行政手続きを無人化し、例えば個人番号と本人しかわからない認証番号や毎回自動的に送ってこられるコードにより本人確認し殆どの行政との書類のやり取りが自動化され、地方行政の人件費の節約してきたデンマークですが、中央の政府機関はより人員を増やし支出を増やしている現状で、地方にばかり人件費の節約を図るのは間違っていると以前から言われてきた。

そのため、初年度に州政府職員を 1,000 人削減し、次年度以降はさらに削減する予定です」とニコライ・ヴァンメンは言う。

人員削減は、政府官僚の人件費 4 億デンマーク・クローネ節約するという政府の決定に続くものである。

ワムメンは、政府官僚が減ることではどれだけの予算が捻出されるかはまだ明言できないのはどのようなポジションがキャンセルされるかによります。と語っている。

### 解決すべき課題が減る

大臣は具体的な金額を示すことはできないが、自治体や地域との協力でこの手腕を発揮するだろう。彼はまた、来年度予算を手始めとして挙げる。

その交渉の中で福祉に使われることになるでしょう。私たちが行政から取り上げて、より重要だと考える仕事に使うお金です。

### 果たしてそうであろうか？

政府はこの半年間、財政政策を緩和してきた。火薬、弾丸、そして戦争だ。

不確実性があまりにも大きいので、政府は万一に備えてベルトを締めるべきだ。

そう語るのは、政府の経済監視機関である「賢人たち」だ。

エコノミストたちは、先週 110 億デンマーク・クローネのいわゆる余裕資金を増やし、今後数ヶ月の間に 40 億クローネの支出を計画した政府とニコライ・ヴァンメン財務大臣（当時）を批判している。

EU 諸国と足踏みを揃えなければならないが、国民は地方自治体が節約した人件費で弾薬など武器支援に消えてしまっってはならないと考えている。今回の政府の人員削減で捻出される余剰予算も福祉の問題予算に成るべきであるし、将来来るべき国民の高齢化に備えの具体的な経常予算が期待されている。

### ゆいの花公園にバラを見に行きました！

看多機さんしょう 原 広和

春バラが見ごろの季節となりました。東松戸のゆいの花公園には、バラのアーチがあります。バラだけでなく、季節折々の花がきれいにお手入れされ近隣の人に親しまれています。さんしょうでもお花をみたりや土いじりが好きな方が多く、バラを観に行きました。行ってみるとバラだけでなく、マリーゴールドや〇〇や〇〇など形も色も多彩なお花に会えました。利用者さんも「私、ずっと松戸に住んでいたけどこんな場所があるなんて知らなかったよ。」「花で文字も作って、ちゃんと管理されていていいな。」など感想を頂けました。さんしょうからは車で 5 分程なので、季節を変えてまた行きたいと思います。



### 八柱学習会のお知らせ

5 月の学習会は 7 名の参加でした。

▼次回学習会予定（定例日：毎月第 3 金曜日）

6 月の八柱学習会はお休みとなります

7 月 19 日（金）18:00～、あつまーれ幸樹

テーマ：「デンマークから学ぶ」

報告・松下泰樹（からたち薬局 管理薬剤師）

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

**1120KWh**

幸樹会館電力使用量 3852KWh 自給率 29.07%



### 職員募集！非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり  
問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550